

## 振り子はどこまで遠くに振られるのか？

ロジャー・ラム -- Disciples Today

2005年9月7日

**私はこのむなししい人生において、すべての事を見てきた。正しい人が正しいのに滅び、悪者が悪いのに長生きすることがある。あなたは正しすぎてはならない。知恵がありすぎてはならない。なぜあなたは自分を滅ぼそうとするのか。悪すぎてもいけない。愚かすぎてもいけない。自分の時が来ないのに、なぜ死のうとするのか。一つをつかみ、もう一つを手放さないがよい。神を恐れる者は、\*この両方を会得している。 <新改訳：伝道者の書 7:15-18> (\*NIV訳では、avoid all extremes極端を避ける)**

**言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。 <ヨハネ 1:14>**

私たちの交わりは2003年に火の嵐を受けました。むだな未解決の関係の蓄積によって、国際キリストの教会と呼ばれる私たちの動きにおいて神が為された良いものをも、窒息させてしまいました。インターネットで公表された手紙は、私たちの森林に火をつけた最も明らかな火種の一つでした。大部分は消火完了したとほっとしていますが、多くが消火活動から意気消沈しています。

どんなグループでも、私たちの交わりが受けたようなトラウマを経験すると、最初の衝動は過剰反応となります--そして過剰修正に。私たちは、一般的な人間の現象を言い表すのに簡単な描写を用いたと思います：振り子の動きです。マッチが私たちの枯れ木に点火し、炎は急速に広まって、森の健康な木さえ燃やしたのを見た後、私が以前これを同様の光景を見たことがあったのを思い出しました。事実、それは私が育った教会での経験が説明していました。そして、すべての教会史でこれを研究したのを思い出しました。最終的に、聖書は、神の下での統一という素晴らしいビジョンと恐ろしい分裂の例でいっぱいであったと私にわかり始めました。もちろん、私がそれを発見する何千年も前に、聖書ははるかに雄弁に明らかに書かれていました。ソロモンはコヘレト7章でそれについて完全に説明しています。

過剰反応は神の正義を求めるより、はるかに人間的です。過剰反応は精神性の深さを全く必要としません。事実、私たちは振り子の動きの両端が、直接、言葉となって、罪深い地雷を積んできたのを経験しました。

私たちの動きは、いつも神の言葉と私たちの権威とに従うことに専念してきました。聖書の中に、行っていないことやなっていない何かを見るとき、変わりましよう何十万人もの人々に言ってきました。現在、私たちには「私たちの人生と主義」を見て、語ったように歩む、素晴らしい機会があります。振り子の動きは過剰反応という極端からもどろろとしています。どれくらい遠くに、私たちは今、それを揺らすつもりですか？

原則:

**"主を恐れる者は、極端を避ける"** <NIV 訳伝道者の書 7:18> 私たちには、歴史を変える特別な機会が与えられています。

質問:

- 1) 私たちは自分たちの過剰反応を認め、理解することができるくらい謙虚になれるでしょうか？
- 2) 私たちは、振り子を私たちの利益、意見、置位に向かって揺らすのを止めることができるくらい成熟し、賢く謙虚になれるでしょうか？

数年前、未解決の関係という枯れ木がくすぶり、燃やされたのを、個人的に見てきて、私自身、人生において恵みよりも真理を強調してきたことを確信しました。

それから私は、探し求めた結果、神の恵みに関する素晴らしい真理を逃したということに気付き、完全に圧倒されました。イエスは「恵みと真理で満ち」ていたと聖霊を通して、ご自分を定義されました。彼は恵みと真理のバランスではありません。彼は「恵みと真理」の間に揺れる精神分裂病患者の振り子ではありません。彼は、真理、および恵みに対する反応でもありません。イエスは恵みと真理の両方でいっぱいです。彼は恵みと真理の完全な組み合わせです。イエスのようになることに専念するならば、彼のようになるのを心がけます。どちらか片方に過剰反応はしません。

これが神との関係に、深い影響力があったので、私は「恵みと真理」というコラムを執筆しました。私は手紙によく「恵みと真理」とサインします。私はなぜこれをあなたに言うのでしょうか？ 私に注意を向けないように。しかし、私の留意とあなたの注意をイエスへと引きつけるために、道であり、真理であり、命である、聖霊で満たされた方、唯一の神への道に。私たちはすべてこれを求めて努力しているのではありませんか。

**なぜなら、わたしはあなたがたの間で、イエス・キリスト、それも十字架につけられたキリスト以外、何も知るまいと心に決めていたからです。 < コリント 2:2 >**

**イエス・キリストという既に据えられている土台を無視して、だれもほかの土台を据えることはできません。 < コリント 3:11 >**

この特別な機会:

- クリスマスとして、イエスを主とし、古い人生に死に、真に罪を悔い改め、イエス・キリストの死と葬りと復活に預かり、罪の赦しを受けるためのバプテスマを受け、聖霊が彼らの中に住んでくださることを通して、神は 150 ヶ国以上の弟子たちを祝福してくださいました。彼らは何を信じているか知っており、かつて考えられないほどの多くの人々と信仰を分かちあいました。
- 殆どのトップリーダーが公に辞任し、悔い改めています。殆どが私たちの交わりに留まり、能力に応じて、仕えています。そのようなことが起こるとはどんな組織でも聞いたことはありません。私が育った環境では、長老や説教者が公に謝罪し、罪を認める言葉を聞いたことはありません。多くは、何の謝罪も無く消えました。
- 教会に残っている人々の信仰は火によって鍛錬されました。彼らはある理由でここに残っています。多くの人々の信仰は、熱のために弱まっています。他に、より清められた心の人々もいますが、彼らも方向性と交わりを求めています。
- ここからどこへ向かうかという確信を築くにあたり、自分の好む方へ振り子を揺らす誘惑があります。私達は過去から学ぶ機会があります。自分達のそして、カインとアベルの過去から。
- 過剰反応か、または義のために行動するか自分たち自身を定義することになります。私たちは歴史の灰の山に埋もれるか、丘の上の光となるか。選択できます。

### 私たちの動きの初期における振り子の動き

私たちは、この動きの以前に起こったことに対するする反応によって、教え、行ってきた事実を認めなくてはなりません。これらは、広く一般的な描写なので、全ての状況に当てはまるわけではなく、また完全なリストでもありません。知恵と認識、成熟した心を持って読んでください。

教育を受けた牧師と御言葉への弱い信仰 -対- 教育を受けていない牧師と御言葉への強い信仰  
伝統的教会における弱いリーダーシップ -対- 過度に強いリーダーシップ  
長老による教会と牧師の支配 -対- 伝道者が教会と長老を支配  
伝道: 賜物であり、目的ではない -対- 伝道: 唯一の目的、救いに必要不可欠  
教会分裂は受容、言い訳 -対- 教会一致はどんな代価を払っても必要  
確信が無く、生ぬるい献身 -対- 知恵が無く、革命的な献身  
互いの人生に関わらないクリスチャン -対- 過度に人生に関わりすぎる弟子たち  
まったく責任がない -対- たびたび責任を押し付けられる

罪を指摘せず、教会を訓練しない -対- 全ては罪の結果。しつけの乱用。  
失われた人への緊急性が極めて少ない -対- 世界をこの世代で伝道することへの強制  
計画性が無く福音が抑えられる -対- 過度に計画して心が抑えられる  
独立的、非協力的精神 -対- 成熟した教会やリーダーでも信頼されない  
グループリードシップがリーダーを恐れる -対- 個々のリーダーシップがグループを恐れる

### この動きの変遷期の振り子の動き

私たちは、蒔いた種を刈り取るという神の真理から逃げることはできません。私たちの極端な振り子の動きが結果的にもう一方の極端という反応として現れました。私は最近、ある元リーダーたちが、これらの極端のリストを告白するのを聞きました。（もしあなたが注意して聞いたら、振り子のシューッという音が聞こえるでしょう。）：

リーダーシップを偶像化 -対- リーダーを打ちのめす  
沈黙の文化 -対- 開かれた会合 - 互いに罪を告白する  
弱い人へリーダーが厳しい -対- 弱い人がリーダーに厳しい  
精神医学や心理学に答えはない -対- 精神医学や心理学に全ての答えがある  
自分の救いへの罪悪感 -対- キリストにおける自由の乱用 -罪に対する罪悪感が無い。  
意見が束縛される -対- 弟子訓練が無い。互いの関係が無い。  
子供のいる女性がミニストリーへの過度な参加 -対- 女性ミニストリーは無い  
バプテスマに集中 弟子を作らない -対- 伝道しない---言い訳「神が実を結ばれる」  
リーダーが外の教会を指導しすぎ -対- 教会間でのリーダーの指導が無い  
説教者が間違いを犯した -対- 強い説教者はいない

各自が神に対して、自分の振り子の動きについて答えるでしょう。

あなたは、これらのコメントを誰が言ったか分かったら違う反応をしたでしょうか？

もしキップや他のリーダーに対して反応し、振り子を別の方向へ押した人々が、正直に神の言葉を中心にすることに専念したなら、私たちの一致によって神が栄光を受けるでしょう。<ヨハネ 17:23> あらゆる場所で、振り子の範囲を決める機会が私達にあります。私たちは反応によって振り子を押ししていますか、それとも神の言葉を中心にしていますか。

以下の過剰反応をリストに加えて考えてみてください。

真理 - まったく恵みがない -対- 恵みばかりで真理が無い。  
信仰の無い働き -対- 働きの無い信仰  
神よりも教会を愛する -対- 神を愛するが、教会は愛さない  
リーダーがメンバーを尊敬しない -対- メンバーがリーダーを尊敬しない。  
信仰と愛が無く、命令によってリードする -対- 信仰と愛が無く、恐れによってリードする  
心の無い犠牲 -対- 犠牲のない心

### 十字架はどこですか？

これらの極端主義への反応の中にイエスの十字架はありますか？多くの人が極端主義に専念し、混乱しています。イエスは極端な人に弟子になりなさいと呼ばれました。-短気なペテロ、雷の子ら、熱心等のシモン、疑い深いトマス、裏切り者のユダまで。

イエスほど神に近い人はいません。イエスほど、神に忠実な人はいません。イエスほど、革命的に世界を変えた人はいません。しかし、イエスは極端主義ではありませんでした。「神を畏れる者は、極端を避ける。」誰もイエスほど正しく神を畏れる人はいません。ですから、イエスはご自身を人生と行いで定義されました。彼の反応ではありません。

### イエスは二者択一を考える人？

私たちはイエスを極端主義ととらえるなら、ひどく自分自身を拘束することになります。そうになると、全てが二者択一の状況に見られてしまいます。福音書を読むと、イエスが、イエスを二者択一の考えの罫に落とそうとする人々と過ごしてきたのが見られます。時には、質問をつき返し、彼の質問に答

えるならば、答えると言われたこともあります。イエスは「恵み」か「真理」ではなく、「恵みと真理」であり、両者共でした。

今日、人類が作り上げてきた多くの痛み、死、破壊などは、二者択一の考えから起因しています。中東紛争など考えてみてください。私たちは最初、神と悪魔が人生の両極を定義したと考えます。実際、そのような考えが悪魔を有利とし、力を与えています。神は、私たちがキリストにおいて圧倒的な勝利者であり、キリストの愛から引き離すものは何もないと言われています。

二つの真理の中の本当の戦いとは、私達が罪人であり、神が私たちのために死んでくださったほど愛されたということです。

両者共に、福音の力の神秘です。多くがローマ 3:23 やローマ 3:24 を引用します。神はそれらを融合した力の中に見出されます。

私たちは革命的なクリスチャンであると同時に、極端主義に走らないでいられるのでしょうか？人から見れば決してありえません。神から見れば、両方言われています。「だれでも私について来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて着なさい。」ルカ 9:23 「神を畏れる者はすべての極端を避ける。」(NIV:伝道者の書 7:18)

明らかに、神は両方言われています。自分を捨て、日々十字架を背負い、全ての極端を避けることで

### 振り子の原則の例外:

振り子の原則について、定義する二つのことがあります。高慢と謙虚さです。高慢への反応としての高慢は、高慢を生み出します。謙虚さへの反応としての謙虚さは、一層の謙虚さを生み出します。高慢さは、卑下されます。謙虚さは人を謙遜にします。もし私たちが、高慢さ、又は、謙虚さのどちらかに対して反応するなら、歴史の次の段階へと進むことになるでしょう。

### 煙が晴れて

火災の煙は消えました。煙が晴れたあとに何が見えますか？ 私たちの組織構造はすでに燃やされ、今でも多くの関係がその火災の被害者となっています。ある教会は、草やわらで建てられていたことが明らかになり、他に、金、銀、宝石などで建てられていた教会は残りました。(コリント 3章)

私たちの交わりはすでに、人々や会議、あるいは、国や言葉によってグループに分けはじめています。これは霊によるものですか、肉によるものですか？次の数ヶ月間には、神は一致を求めて多くの人々の心を動かすことでしょう。私たちの肉が、反応するようと呼びかけます。私たちの舌は心の思いを欺くことでしょう。私たちは過剰反応せずに、革命的に悔い改め、神に献げることができるでしょうか。イエスはそうされました。イエスは私たちに彼の目的に従うように、全ての教会で教えるように呼ばれています。

1年後、5年後、10年後に振り返ると何が見えるのでしょうか？私たちは、全ての極端を避けた男性、女性として見えるのでしょうか？または「私たちを反応させた」と、他の人々を責めていますか？または今、作り上げた未解決の問題に対し、罪の意識を感じているのでしょうか？私たちは、霊の火を消して、肉の要求を満たしたことを謝罪しているのでしょうか？私の祈りは、過去の失敗から、そして、新しい失敗についても学ぶことです。

およそ鍛錬というものは、当座は喜ばしいものではなく、悲しいものと思われるのですが、後になるとそれで鍛え上げられた人々に、義という平和に満ちた実を結ばせるのです。ヘブライ 12:11

今日の弟子として、神と互いに奉げ、反応することを避け、イエスの弟子として行動することを決意しましょう。成長し、ねたみや仲たがいはやめましょう。互いに戦うのは止め、サタンとの戦いに戻りましょう。知恵や、成熟した愛を、情熱に加えましょう。恵みと真理に満ちて、振り子の動きを止めましょう。

**ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。**

**私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。 <ヨハネ 1:14>**

事の終わりは、その初めにまさり、  
忍耐は、うぬぼれにまさる。  
軽々しく心をいらだててはならない。  
いらだちは愚かな者の胸にとどまるから。  
「どうして、昔のほうが今より良かったのか」  
と言ってはならない。  
このような問いは、知恵によるのではない。  
資産を伴う知恵はよい。  
日を見る人に益となる。  
知恵の影にいるのは、金銭の陰にいるようだ。  
知識の益は、  
知恵がその持ち主を生かすことにある。  
神のみわざに目を留めよ。  
神が曲げたものをだれがまっすぐにできようか。  
順境の日には喜び、逆境の日には反省せよ。  
これもあれも神のなさること。  
それは後の事を人にわからせないためである。  
私はこのむなし人生において、すべての事を見てきた。  
正しい人が正しいのに滅び、悪者が悪いのに長生きすることがある。  
あなたは正しすぎてはならない。知恵がありすぎてはならない。  
なぜあなたは自分を滅ぼそうとするのか。  
悪すぎてもいけない。愚かすぎてもいけない。  
自分の時が来ないのに、なぜ死のうとするのか。  
一つをつかみ、もう一つを手放さないがよい。  
神を恐れる者は、\*この両方を会得している。  
<新改訳：伝道者の書 7:8-18>  
(\*NIV訳では、avoid all extremes すべての極端を避ける)